

平成30年春
開設

(仮称) 子育て リフレッシュ館

愛称募集

最優秀賞には3万円相当の
副賞をプレゼント

平成30年春、錦町8番13号に「(仮称) 子育てリフレッシュ館」の開設を予定しています。

子育て中の人など、多くの市民の皆さんに親しまれ、愛される子育て支援の拠点にふさわしい愛称を募集します。

図 子育て支援課



※イメージ図です。

(仮称) 子育てリフレッシュ館とは

屋内の遊び場や一時預かり、子育てに関する相談の窓口など、「遊び」・「交流」・「相談」の3つのコンセプトを基本とした、市の子育て支援の拠点です。

寝屋川市駅から徒歩圏内の立地で、アクセスにも優れています。

○延床面積 1,660平方メートル

▽応募資格 市内在住・在職・在学の小中学生以上の人
▽選考方法 応募の中から選考後、子育て世代による投票を実施し、最優秀賞1点、優秀賞2点を決定
▽賞品 最優秀賞1点：賞状及び副賞(3万円相当)、優秀賞：副賞(5000円相当)
※①応募された愛称が複数のときは、副賞を分割します②抽選で応募者20人にリフレッシュ館お楽しみ券を贈呈します。
応募・図 愛称(読み方)、由来又は理由、氏名(ふりがな)、性別、年齢、住所、電話番号、在職・在学の人、勤務先・通学先とその所在を書いて、12月15日(金) 11時着までに直接窓口、郵送又は市ホームページ「子育て支援課」で子育て支援課(〒572-8533池田西町28番22号)
※市役所1階ロビー、各シティ・ステーションの回収ボックスでも応募できます。

2階

<一時預かり(最大20人)>

就学前の子どもを保護者が、用事やリフレッシュなどのために、子どもを一時的に預けることができます。予約には、市公式アプリ「もっと寝屋川」(2ページ参照)を活用できます。

<子育て世代包括支援センター>

妊娠期～子育て期の切れ目ない支援を行い、必要な情報提供や助言を行います。また、母子健康手帳を交付する全ての妊婦に個別の子育て支援プランを作成し、提供します。

3階

<セミナー室(80人)>

キッチンスペースを併設し、離乳食やお菓子、パン作り講座のほか、ヨガ教室など保護者がリフレッシュできる講座や親子で参加できる講座などを開きます。

主な館内の施設

1階

<遊びスペース>

親子が室内で安全に遊べる場所。ボールプール・滑り台、エアー遊具・ジオラマ・ごっこ遊びなどの遊具があります。子どもの心身の成長やコミュニケーション力の向上にもつながります。



※写真は類似施設のイメージです。

学校 家庭 地域の連携が 確かな学力に

全国学力・
学習状況調査の
結果について
お知らせします

平成
29年度

全国学力・学習状況調査内容及び教科別平均正答率

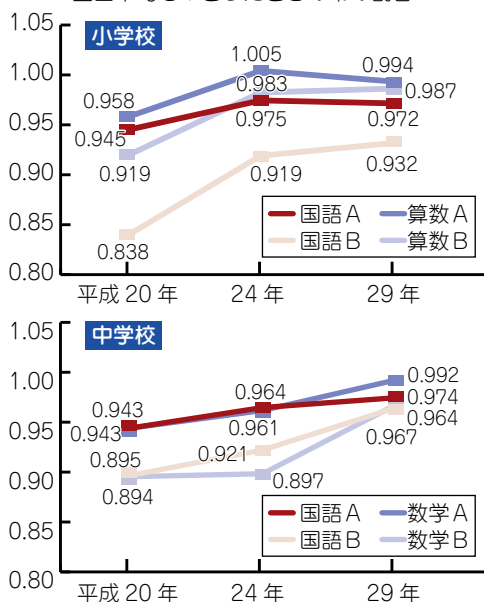
(単位：％)

内容	国語A	国語B	算数A	算数B
校種	国語A	国語B	数学A	数学B
小学校	72.7	53.6	78.1	45.3
中学校	75.4	69.6	64.1	46.5

※小学校2年生～5年生・中学校1年生～3年生対象の市学習到達度調査の結果は、市ホームページ「教育研修センター」をご覧ください。

全国学力・学習状況調査【全国比経年比較】

※全国平均を1としたときの市の割合



4月18日に行われた全国学力・学習状況調査（小学校6年生と中学校3年生を対象）の結果をお知らせします。この調査で測れるものは、学力の特定の一部分にすぎません。さらに児童生徒一人一人の学力や学習状況を把握し、今後の指導や授業の改善に生かしていくことが重要であると考えます。

市は、市平均正答率及び学校別の調査結果を公表することで学校の状況を市民に知ってもらい、各学校が家庭・地域の支援を受け、三者が協働して子どもたちの確かな学力を育成できるよう、教育活動の充実を図っていきます。

図 教育指導課

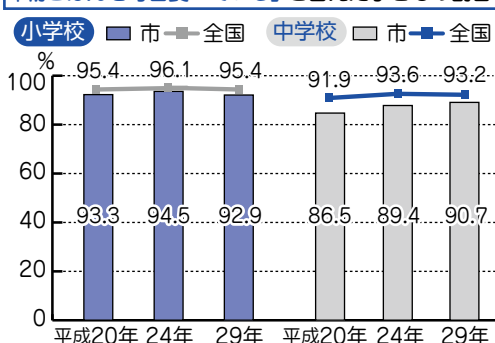
全国学力・ 学習状況調査

小学校では、国語A・算数A・算数Bがほぼ全国値と並び、特に、算数の「数量関係」の領域では、全国平均を上回る結果となりました。国語Bで改善傾向が続いています。

中学校では、全科目で大阪府平均を上回り、国語A・数学Bでは、対全国比でも高い数値となりました。国語・数学、いずれも年々上昇しており、小中連携した取り組みの成果が着実に現れています。

A問題…「知識に関する問題」
B問題…「活用に関する問題」

「朝ごはんを毎日食べている」と答えた子どもの割合



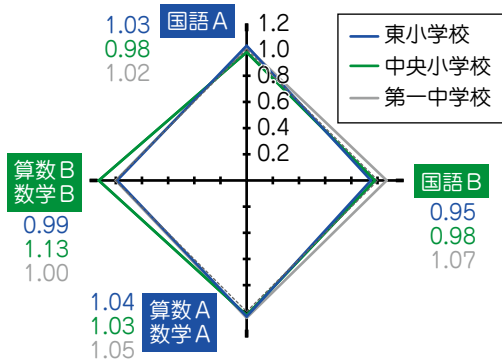
児童生徒質問紙調査

朝食摂取率は小・中学校いずれも90パーセントを超えており、各校での家庭への啓発や食に関する指導による成果がみられます。

今年度より、「携帯電話やスマートフォン」の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問項目が加わりました。小・中学校いずれも肯定的な回答は全国平均を上回っており、市が取り組んでいる「スマホ・ネットいじめ対策」が成果を上げているといえます。



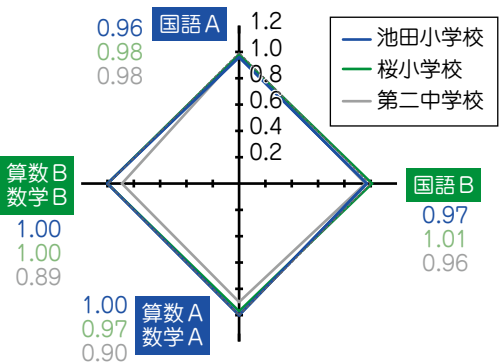
第一中学校区～街の学校 SN(School Network)～



自ら考え行動する児童生徒の育成を目指し、小学校児童会と中学校生徒会が合同で「校区サミット部会」を組織し、自己有用感を高める活動を実施しています。

東小学校は国語 A、算数 A で全国平均を上回りました。中央小学校は算数 A・B で全国平均を上回り、特に算数 B の量と測定では、全国平均を大きく上回る結果となりました。第一中学校では、国語 A・B、数学 A で全国平均を上回る結果が見られました。

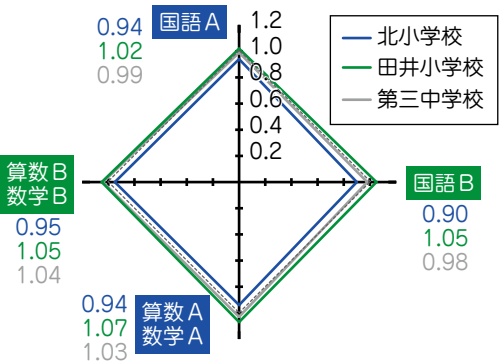
第二中学校区～双葉学園～



子どもたちの「聴く力」「理解する力」「伝える力」を育てるために、「ユニバーサルデザインの授業づくり」を推進するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の研究・実践を進めています。

池田小学校は算数 A・B で、全国平均と同等となりました。桜小学校は国語 B で、全国平均を上回りました。第二中学校では、国語 A の書くことの領域で全国平均と同等の結果が見られました。

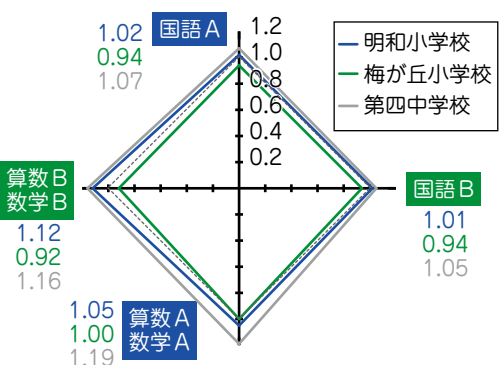
第三中学校区～香里園元気学園～



ICT機器の活用やユニバーサルデザインの授業づくりに取り組み、全ての児童生徒に分かりやすい授業を推進しています。

北小学校は国語 A の読むことについて、全国平均と同等の結果が見られました。田井小学校は国語 A・B、算数 A・B で全国平均を上回りました。第三中学校では、数学 A・B で全国平均を上回る結果が見られました。

第四中学校区～東寝屋川学園～



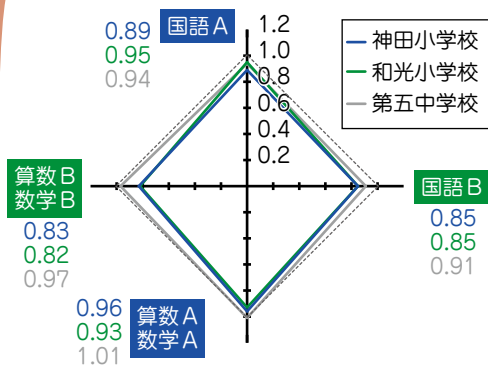
児童生徒の「自主・自律」を目指し、分ろう・達成しようという雰囲気がみなぎる集団づくりに取り組むとともに、言語活動の充実を図るため、ICT機器を積極的に活用した授業を実施しています。

明和小学校は国語 A・B、算数 A・B で全国平均を上回りました。梅が丘小学校は算数 A で全国平均を上回りました。第四中学校では、国語 A・B、数学 A・B で全国平均を上回る結果が見られました。

※ 全国平均正答率を1としたときの平均正答率の比
※ 小数点以下第3位は四捨五入



第五中学校区～五凜学園～

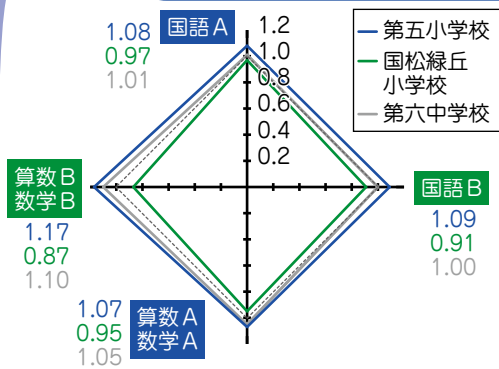


学校・家庭・地域と協働する教育を目指し、小学校児童代表と中学校生徒会合同の「5-GOサミット」、地域の人たちを招いての「子ども議会」を開催しています。

神田小学校は算数A・Bの図形について全国平均を上回りました。和光小学校は国語Aの伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項で全国平均と同等の結果が見られました。第五中学校では、数学Aで全国平均と同等の結果が見られました。



第六中学校区～香里かほりまち学園～

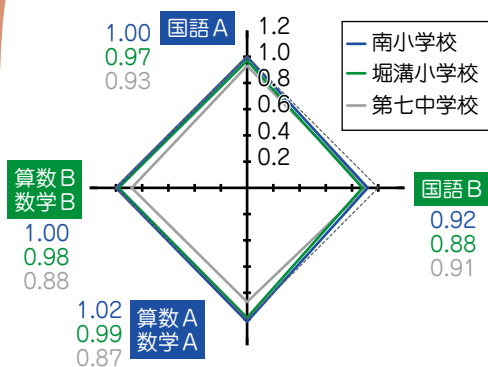


小・中学校の学習体制の段差をなくすことで、子どもたちが安心して学ぶことができるシステムづくりに取り組んでいます。

第五小学校は国語A・B、算数A・Bで全国平均を上回りました。国松緑丘小学校は国語Aの読むこと・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項、算数Aの数量関係、算数Bの量と測定の領域で、全国平均を上回りました。第六中学校では、国語A・B、数学A・Bで全国平均を上回る結果が見られました。



第七中学校区～河内野くすの木学園～

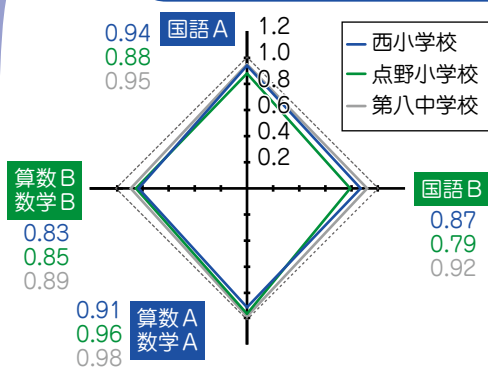


自らの力と意志で進路選択できる子どもの育成を目指し、体験学習を充実させたキャリア教育に取り組んでいます。

南小学校は算数A・Bで、全国平均を上回りました。堀溝小学校は国語Aの書くこと、国語Bの話すこと・聞くこと、算数Aの数と計算・数量関係で、全国平均を上回りました。第七中学校では、国語Aの伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項で全国平均と同等の結果が見られました。



第八中学校区～寝屋川西部学園～



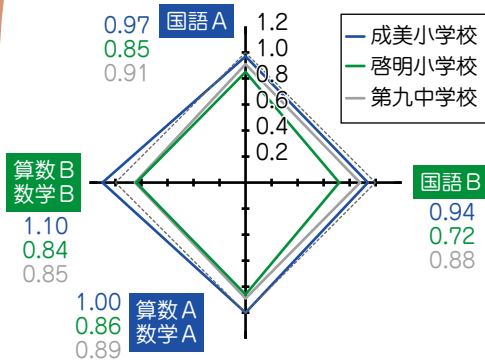
「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、協働的な学びを実践しています。

西小学校は国語Aの目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くという項目について、全国平均を上回りました。点野小学校は算数Aの図形と数量関係の領域で、全国平均を上回りました。第八中学校では、数学Aの関数と資料の活用の領域で、全国平均を上回る結果が見られました。





第九中学校区～梨の木学園～

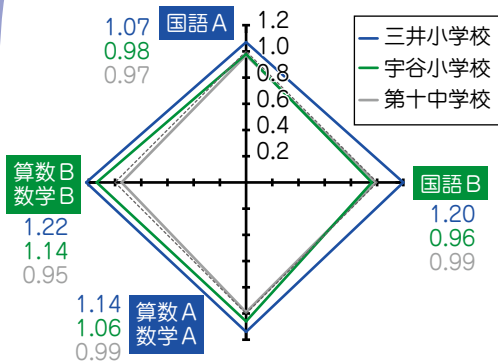


児童生徒一人一人の自己有用感を高めるPBIS (Positive Behavioral Interventions and Supports) という取り組みを行っています。

成美小学校は算数Bの平均正答率で全国平均を上回りました。啓明小学校は国語Aの俳句の情景を捉える問題、算数Aの整数と小数の計算をする問題で全国平均を上回りました。第九中学校では、国語Aの文脈に即して漢字を正しく読む問題、数学Aの整式の加法と減法を計算する問題で、全国平均を上回る結果が見られました。



第十中学校区～寝屋鉢かづき学園～

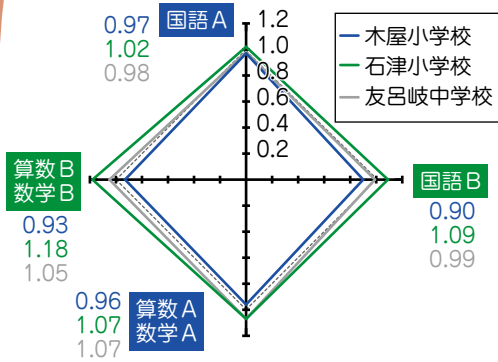


「伝え合う力」の育成に向け、各校で特に力を入れる教科を定めコミュニケーションを大切にした取り組みを推進しています。

三井小学校は国語A・B、算数A・Bで全国平均を上回りました。宇谷小学校は算数A・Bで全国平均を上回りました。第十中学校では、国語Bの読むこと・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の領域、数学Bの数量や図形などの知識・理解の観点で、全国平均を上回る結果が見られました。



友呂岐中学校区～きらりと輝く五つ星学園～

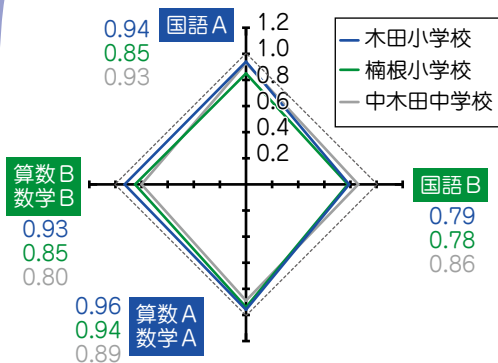


英語教育・ICT教育・道徳教育を柱に、国際人を育てるキャリア教育に取り組んでいます。

木屋小学校は国語Aの読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項で、全国平均と同等の結果が見られました。石津小学校は国語A・B、算数A・Bで、全国平均を上回りました。友呂岐中学校では、数学A・Bの2種目において、全国平均を上回る結果が見られました。



中木田中学校区～NAKAKIDA ★きらら学園～



主体的に考え行動できる子どもの育成を目指し、「協働的な学び」を通して、つながりを大切にした授業づくりを行っています。

木田小学校は算数Aの図形の領域で、全国平均を上回りました。楠根小学校は算数Aの数量関係の領域で、全国平均を上回りました。中木田中学校では、国語Aの語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うなどの問題で、全国平均を上回る結果が見られました。



普通会計の実質収支・単年度収支

いずれも13年連続黒字

平成28年度決算がまとまりました。

普通会計（※）の実質収支は約15億3,800万円、単年度収支は約1億2,500万円と、13年連続して黒字を確保することができました（表1のとおり）。

また、平成30年度の予算編成に向けて、基本的な考え方を示す「予算編成方針」を策定しました。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

図 普通会計・特別会計…財政課、企業会計…経営総務課

※普通会計…都道府県や市町村の財政状況を比較して把握するための区分で、市では「一般会計」と「公共用地先行取得事業特別会計」を合わせた会計。

表1 平成28年度 会計別決算 (単位：百万円)

区分	一般会計	国民健康保険特別会計	介護保険特別会計	後期高齢者医療特別会計	公共用地先行取得事業特別会計	合計
歳入 (A)	88,140	33,351	18,878	3,073	121	143,563
歳出 (B)	86,596	32,530	18,372	2,922	121	140,541
差引 (C) (A) - (B)	1,544	821	506	151	0	3,022
繰越額 (D)	6	—	—	—	—	6
実質収支① (C) - (D)	1,538	821	506	151	0	3,016
前年度 実質収支②	1,413	193	295	144	0	2,045
単年度収支 ①-②	125	628	211	7	0	971

水道・下水道事業会計も黒字

水道・下水道事業は市が経営している企業の扱いとなるため、企業会計として算出しています（表2のとおり）。

○収益的収支…水道水を供給する又は下水を処理するための収入と支出。

○資本的収支…水道及び下水道施設の整備や更新のための収入と支出。

表2 平成28年度 企業会計決算

(単位：千万円、△はマイナス)

会計	区分	収入	支出	差引
水道事業	収益的収支	394	377	17
	資本的収支	45	116	△ 71
下水道事業	収益的収支	582	545	37
	資本的収支	306	495	△ 189

※①収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みです②資本的収支不足額（繰越財源は除く）は内部に留保した資金（減価償却費）などで補てんします。

一般会計から見る税の使い道

生活に関わりの深い一般会計の内訳を見ると、市税などが福祉や子育て支援などに多く使われていることが分かります（グラフ1のとおり）。

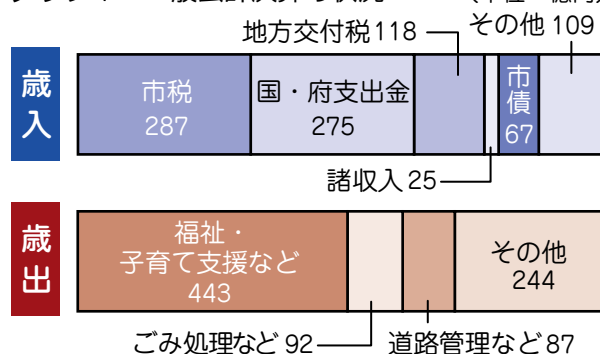
市民1人当たりのお金

負担したお金 121,348円

使われたお金 365,758円

※平成29年3月31日現在の住民基本台帳人口は、236,758人です。

グラフ1 一般会計決算の状況 (単位：億円)



平成 28 年度の主な事業

「確かな暮らしを次代につなげる」ための施策・事業として、①子どもを守るまちづくり②快適で安全・安心なまちづくり③暮らしやすさが実感できるまちづくりに取り組みました。

①深夜防犯パトロールの実施



②対馬江大利線の整備



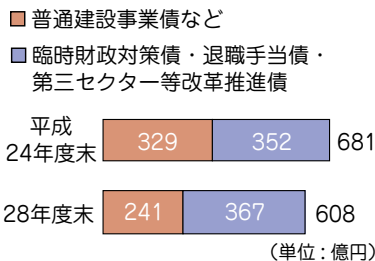
③ねやがわシティ・ステーションの就労支援相談窓口の開設



市債

街路の整備や市立小・中学校などの改修工事のための財源として借り入れています。平成28年度末の市債現在高は約608億円です。

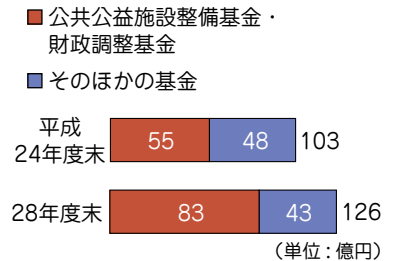
普通会計市債現在高



基金

特定の目的を達成するために積み立て、その事業の推進のための財源として活用しています。平成28年度末の基金現在高は約126億円となりました。

基金現在高



平成 29 年度

財政状況

平成29年9月30日現在の財政状況（予算執行状況、財産・市債及び一時借入金の現在高）は表1・表2のとおり。公営企業会計を除く全会計の予算執行状況は、歳入が43.3パーセント、歳出が38.4パーセントです。

表2 財産・市債及び一時借入金の現在高（平成29年9月30日現在）
(単位：千万円)

財産（公営企業分除く）		
土地	1,396,427㎡	
建物	413,607㎡	
基金	1,265	
会計	一時借入金	市債
一般会計	—	5,793
特別会計	—	—
水道事業会計	—	927
下水道事業会計	15	4,996

※一時借入金とは、収入時期と支払時期の差による一時的な現金不足を解消するため、短期で借り入れる借入金のことです。

表1 平成29年度予算執行状況(平成29年9月30日現在) (単位：千万円)

区 分		予算現額 A	収入済額B (歳入)	収入率(%) B/A	支出済額C (歳出)	執行率(%) C/A
会 計						
一 般 会 計		9,390	4,278	45.6	3,449	36.7
特別会計	国民健康保険	3,540	1,292	36.5	1,544	43.6
	介護保険	2,018	950	47.1	802	39.7
	後期高齢者医療	329	105	31.9	85	25.8
	公共用地 先行取得事業	22	0	0.0	0	0.0
合 計		15,299	6,625	43.3	5,880	38.4

区 分 会 計			収 入			支 出		
			予算現額 A	執行額 B	執行率(%) B/A	予算現額 C	執行額 D	執行率(%) D/C
公営企業会計	水 道 事業	収益的 収支	417	205	49.2	406	129	31.8
		資本的 収支	102	2	2.0	173	38	22.0
	下 水 道 事業	収益的 収支	602	293	48.7	570	119	20.9
		資本的 収支	490	143	29.2	724	243	33.6

※予算現額には、平成28年度からの繰越明許費などを含みます。

平成28年度決算から、全ての地方自治体が、国の示す「統一的な基準」による財務書類を作成することとなりました。

固定資産台帳の整備や複式簿記の導入を前提とした統一的な基準による財務書類を作成することにより、ほかの地方自治体との比較が可能になるとともに、より精緻な資産情報などの財務情報を市民の皆さんに提供できるようになりました。

今後、財務情報の分析や他団体との比較・検証を行うことで、市の財政状況や課題を明らかにし、財政運営に役立てます。

**作成基準が
変わりました**

平成 28 年度

財務書類

市の財政状況を客観的に把握し、効率的な財政運営などに役立てるため、貸借対照表（バランスシート）を始めとする財務書類を作成しました。

貸借対照表 (バランスシート)



市が行政サービスを提供するためにどれだけの資産を保有し、また、その資産がどのような財源で賄われているかを一覧で表したものです。

資産の部

2,091 億 9,000 万円

行政サービスのために市が保有している資産の総額

市民一人当たり **88 万 4,000 円**

例えば 家や現金など

固定資産 2,010 億 8,000 万円

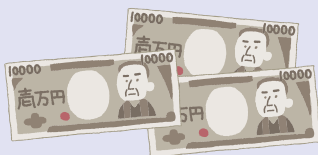
道路・施設などの資産



寝屋川駅前線

流動資産 81 億 1,000 万円

現金預金、市税の未収金などの資産



計 **2,091 億 9,000 万円**

将来世代の負担 負債の部

700 億 5,000 万円

今後、将来の世代が負担する金額

市民一人当たり **29 万 6,000 円**

例えば 住宅ローンなど

固定負債 632 億 7,000 万円

公共施設などの整備のための借入金（市債）など

流動負債 67 億 8,000 万円

翌年度に返済予定の借入金（市債）など

これまでの世代の負担 純資産の部

1,391 億 4,000 万円

これまでの世代や国・大阪府の補助金などにより既に支払済の金額

市民一人当たり **58 万 8,000 円**

例えば 家などの資産の購入に充てた自分のお金

計 **2,091 億 9,000 万円**

平成29年3月31日現在の住民基本台帳人口は、236,758人です。

※詳しくは市ホームページ「**財政課**」をご覧ください。

